



小木小学校5年生が判のりづくりを体験します
～地域学習の一環で沢崎集落の特産品と伝統を学ぶ～

小木小学校の5年生が、総合的な学習の時間の授業の一環として、小木 沢崎集落の特産品である「判のり」づくりを体験します。

当日は、沢崎集落の海苔畑を見学し、海苔の採取場所や特徴について学びます。その後、沢崎集落開発センターにて、地域の方々の指導のもと、板状の海苔づくりに挑戦します。

この学習では、児童たちが、地域に受け継がれてきた伝統的な技術を体験し、地域の歴史とのかかわりを学ぶことで、ふるさとへの理解と愛着を一層深めることをねらいとしています。

1 日 時 令和8年1月 30 日(金) 9 時 00 分～11 時 30 分

2 場 所 沢崎集落開発センター(佐渡市沢崎 703-1)

3 内 容 板海苔づくり(判海苔)体験

※最初に児童は海苔畑を見学、その後、センターで海苔づくりを行う予定です。

荒天の場合は、海苔畑見学は行いません。日程の詳細につきましては下記担当までお問い合わせください。

4 講 師 沢崎集落 高野 健一郎 様、山本 照夫 様、寺尾 裕之 様

5 参加者 小木小学校5年生 18 名、引率教員

本件についての問い合わせ先

佐渡市立小木小学校

担当:教頭 松田

電話(直通)0259-86-2005

